

ナレッジ
×DIY

in丹後



京都府 丹後&府庁NPOパートナーシップセンター

クラウドファンディング ミーティング2016

Crowdfunding Meeting in Tango

12月16日(金)

開始 19時00分～(120分)

場所 与謝野町 生涯学習センター知遊館 研修室1・2
京都府与謝郡与謝野町字岩滝2271

定員 40名(事前申込制/定員になり次第申込み切)

参加費 無料(おやつカンパ大歓迎)

ゲスト 西村 昌弘氏 (クラウドファンディング・コーディネーター/日本ファンドレイジング協会・関西チャプター運営委員)

進行 居村 和香子 (丹後NPOパートナーシップセンター 協働コーディネーター)

永見 まり子 (府庁NPOパートナーシップセンター 協働コーディネーター/日本ファンドレイジング協会・関西チャプターメンバー)

持続可能な地域力再生活動のためには、活動資金、地域や社会からの信頼、活動理解者が大事だと云われています。最近よく耳にするようになった「クラウドファンディング」。京都府庁で3月・6月に開催した「クラウドファンディング・ミーティング2016」の盛会をうけ、会場を丹後に移し開催します。

クラウドファンディング・コーディネーターの西村 昌弘氏をゲストに迎え、参加者のみなさんと一緒に考える場“ナレッジ×DIY”です。

□プログラム

- ・クラウドファンディングってなんなん？(西村氏講演)
- ・クラウドファンディングを成功に導くカギ(質疑応答)
- ・チャレンジしてみたいクラウドファンディング(アイデアワーク)

会場周辺図



西村 昌弘氏

クラウドファンディング・コーディネーター
日本ファンドレイジング協会・関西チャプター運営委員
准認定ファンドレイザー
Makuakeエバンジェリスト



居村 和香子
協働コーディネーター

<事務局・お問い合わせ先>

京都府 丹後NPOパートナーシップセンター
TEL : 0772-62-4300 Fax : 0772-62-5894
Mail : tanshin-ki-kikaku@pref.kyoto.lg.jp
(担当: 居村、高橋)

西村 昌弘氏 クラウドファンディング・コーディネーター



- ▶外資系保険会社チーフコンサルタント
- ▶日本ファンドレイジング協会 会員
准認定ファンドレイザー
関西チャプター 運営委員
- ▶奈良県中小企業家同友会 会員
- ▶Makuake エバンジェリスト



「認定ファンドレイザー®」資格認定制度

日本ファンドレイジング協会が実施。社会課題を解決するために、続々と生まれる魅力あるNPO・社会起業家と、社会貢献に関心のある7割の日本人（2013年内閣府調査）をつなぐパイプラインとして、総合的な財源調達スキルについての深い知識と経験を有する者。「認定ファンドレイザー」「准認定ファンドレイザー」のふたつの階層による資格。

クラウドファンディング（英語：Crowdfunding）とは…

～取り組みのPRも兼ねる、全く新しい資金調達手法～

様々な取り組みやアイデアをインターネットで発表することで、その取り組みに共感した全国各地の人々から広く支援金を募ることができる仕組みです。補助金や助成金、融資や投資ではない、新しい資金調達手法として注目を集めています。インターネットで支援を集めるという性質上、取り組み自体の認知が広がっていくという効果もあり、PRの部分も資金調達と一緒に行うことができます。「寄付型」「購入型」「投資型」といったパターンがあり、取り組みの特徴に応じて支援金を募る仕組みが異なります。国内のサイトは、「Ready for?」「Makuake」「Motion Gallery」「FAAVO」「CAMPFIRE」「JAPAN GIVING」「セキュリテ」など。

問い合わせ・申込先（下記を記入の上、メール又はFAXで申込下さい）

ふりがな
氏名： _____ 所属： _____

電話： _____ メール： _____

<参加理由(任意)>

<あて先>
京都府 丹後NPOパートナーシップセンター
Fax：0772-62-5894
Mail：tanshin-ki-kikaku@pref.kyoto.lg.jp
(担当：居村、高橋)

What's?

ナレッジ×DIY (ナレッジ・バイ・ディー・アイワイ) とは？

～ハイセンスな知的生産+ハイレベルなスキル研修～

さらなる地域力活動アップには、ヒトやモノ、情報や人脈などのより多くの資源が必要になります。その資源を獲得するには、多様な主体との協働や連携が重要な鍵になります。参加体験型創造会議「ナレッジ×DIY」は、個人や団体、行政との協働や連携に必要な知識やスキルを、ゲストや府庁協働コーディネーターとともに実践的に学ぶ機会です。これまで京都府本庁を中心に実施していましたが、府内各広域振興局と連携展開中です。

